

LOWRANCE®

ActiveTarget™

インストレーションマニュアル
日本語



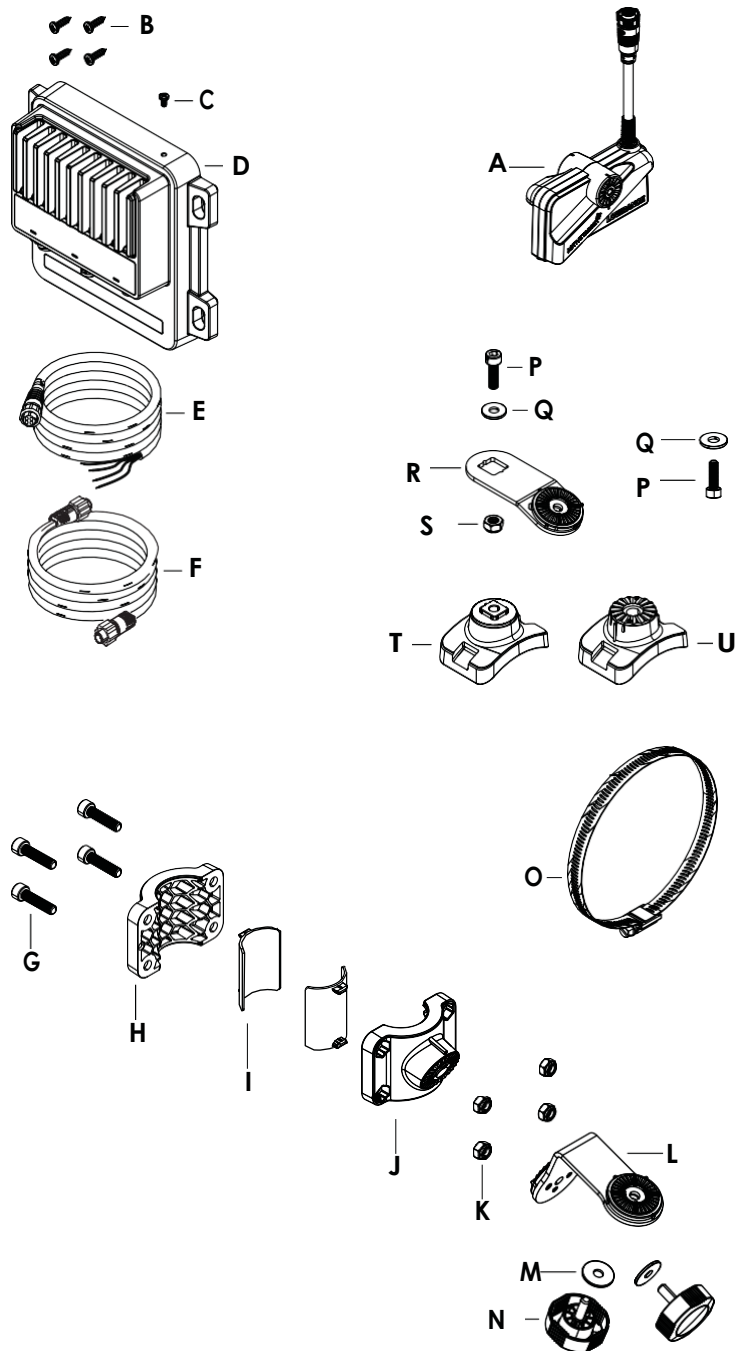
<https://out-break-com/lowrance>

目次

2	内容物の確認
4	ソナーモジュールの取付
4	取付ガイドライン
5	取付方法
6	振動子の取付
6	シャフトへの取付
12	モーターへの取付
16	配線
16	ガイドライン
17	配線概要
18	アクティブターゲット振動子
19	イーサネット
20	電源
23	アース
23	LEDインジケーター
24	寸法図
24	ソナーモジュール
25	アクティブターゲット振動子
26	技術仕様
26	ソナーモジュール
27	アクティブターゲット振動子

1

内容物の確認



- A アクティブターゲット振動子
- B ソナーモジュール取付ネジ
- C ソナーモジュールアース取付用M4ネジ
- D ソナーモジュール
- E イーサネットケーブル
- F 電源ケーブル
- G M6x20 押さえネジ
- H エレキシャフトカラーバック(シャフトマウント)
- I ラバーカラーインサート
- J エレキシャフトカラーフロント(シャフトマウント)
- K M6ナット
- L エレキモーターブラケットアーム(シャフトマウント)
- M M6メタルワッシャー
- N 振動子アームノブ
- O クランプ
- P M6x20 押さえネジ
- Q M6メタルワッシャー
- R エレキモータースカウトアーム(モーターマウント)
- S M6ナット
- T エレキモータースカウトマウントブラケット(モーターマウント)
- U エレキモーター ダウン/フォワードマウントブラケット(モーターマウント)

2

ソナーモジュールの取付

この章ではソナーモジュールの取付方法について説明します。

取付ガイドライン

取付位置を慎重に選び、ドリルで穴を開けたり切断する前にパネルの後ろに隠れた電線やその他の部品がないことを確認してください。切断や穴あけ作業が安全な位置で行われ、ボートの構造が弱まらないように注意してください。ユーザー自身で作業する事が難しい場合は、資格のあるボートビルダーまたは船舶電子機器の設置業者に相談してください。

してはいけないこと:

- 手を掛けたり、つかまる位置への取付け。
- 水没や湿気にさらされる可能性のある場所への取付け。
- ボートの操作やランチングに影響のある場所への取付け。
- 湿気や結露がケーブルを沿って本機に入る位置への取付け。

すべきこと:

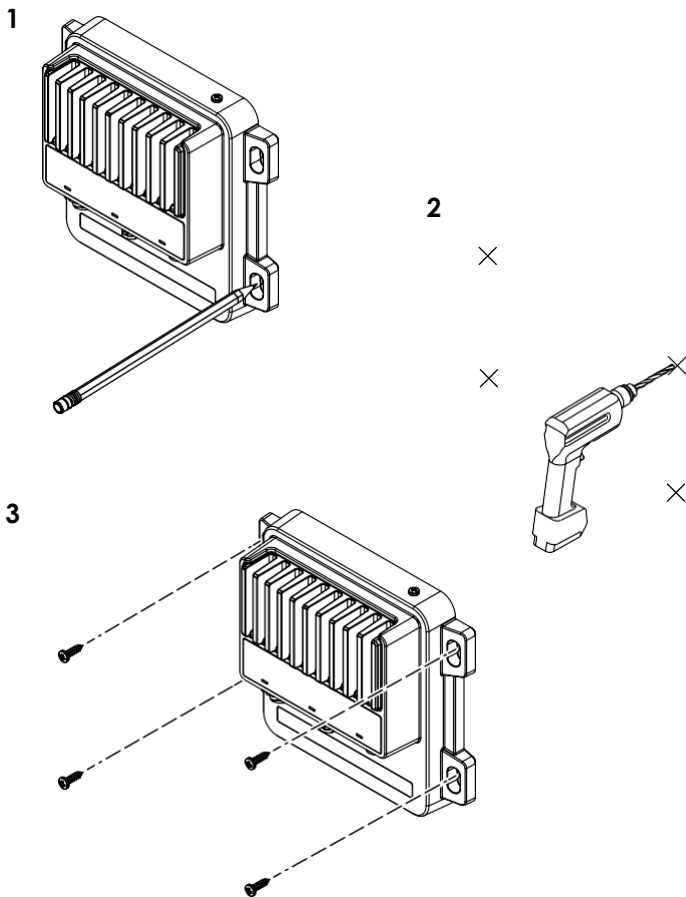
- 取付機器の全体の幅と高さを確認する。
- ケーブルを配線する前に十分なクリアランスを確保する。
- ケーブルが適切な取付位置に配線できるか事前に確認する。

→**注記:** ソナーモジュールは十分に乾燥し、換気できる位置に取付してください。取付位置周辺が狭い場合は本機が熱を持たないように強制的に換気する必要があります。

！警告: 換気が不十分で機器が過熱すると、動作の信頼性が低下し、耐用年数が短くなる可能性があります。仕様を超える環境で使用すると保証が無効になる場合があります。

取付方法

モジュールの取付ネジ穴の位置に印をつけ、下穴を空けます。適切な工具を使用してモジュールをしっかりと取り付けます。



3

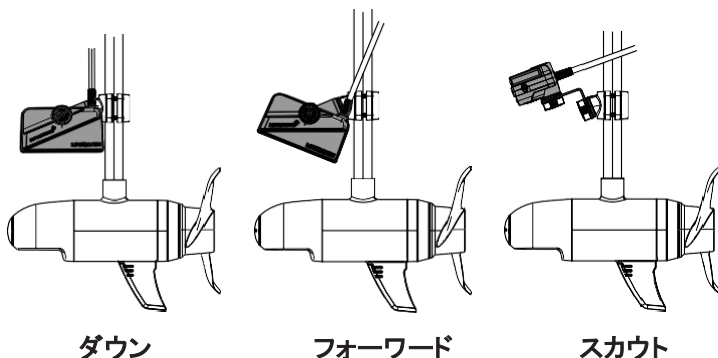
振動子の取付

この章では振動子の取付方法について説明します。

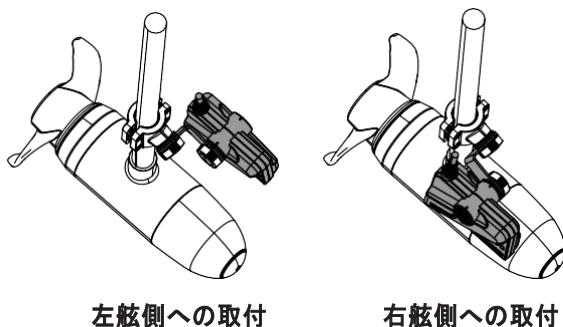
振動子はシャフトまたはエレキのモーター部のいずれかに取り付ける事ができます。

シャフトへの取付

振動子はダウン、フォワード、スカウトの3つの異なる方法で取り付ける事ができます。



振動子はシャフトの左舷側または右舷側に取り付ける事ができます。



ダウン:

振動子の真下にあるものを見るときに使用します。

ルアーと魚の動きをリアルタイムで見ながら釣りができます。

フォワード:

振動子の真正面の魚やストラクチャーを見るときに使用します。魚とストラクチャーの水深を見て、ターゲットへキャストをします。

スカウト:

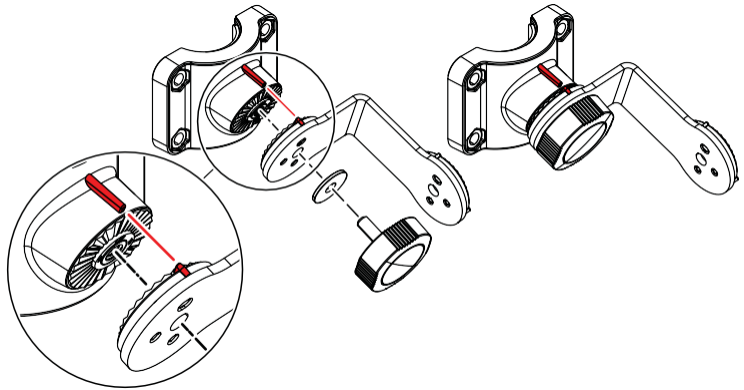
魚やストラクチャーを広い範囲でサーチする時に使用します。
魚群を探し出して、次のキャストの方向を決めます。

ブラケットアームのシャフトフロントカラーへの取付

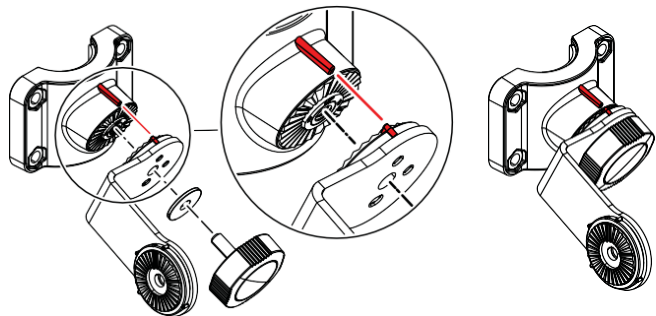
ブラケットアームをシャフトフロントカラーに取り付けます。

取り付けたブラケットアームはシャフトクランプとトローリングモーターの中心線を合わす際のハンドルとして使用できます。

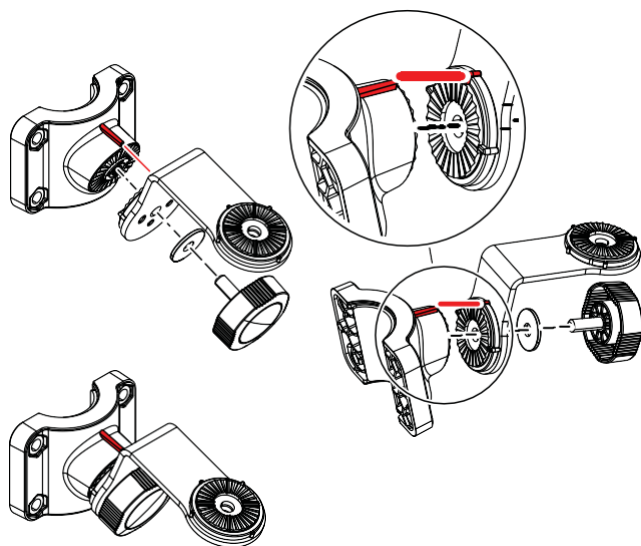
左舷側へのブラケットアーム取付- ダウン/フォワード



右舷側へのブラケットアーム取付- ダウン/フォワード

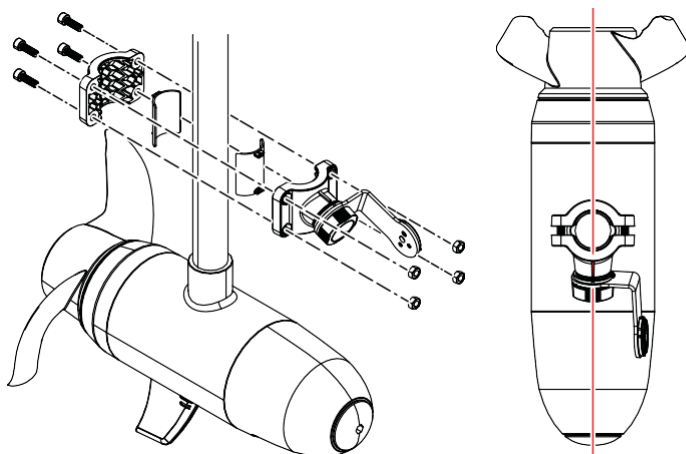


スカウトモードで使用する時のブラケットアーム取付

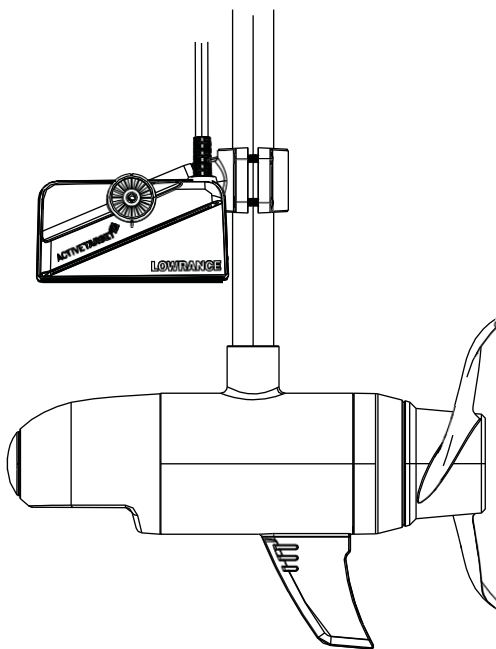
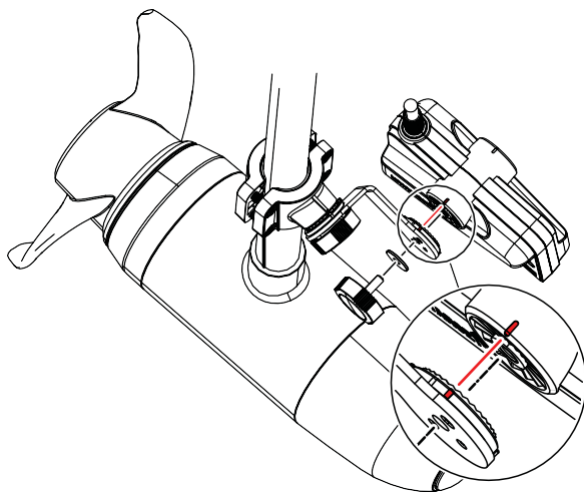


シャフトクランプの取付

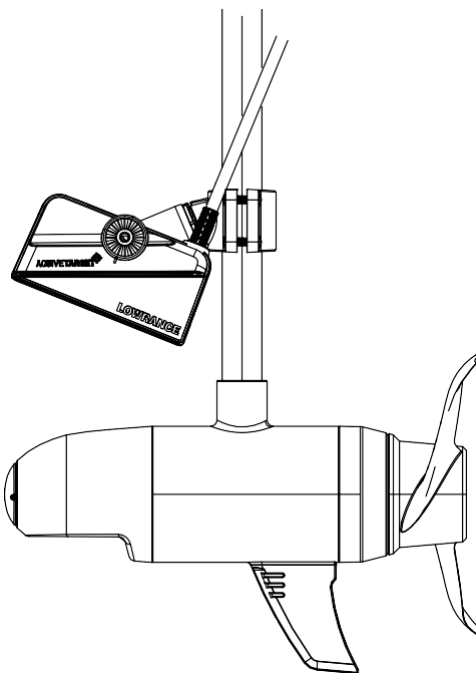
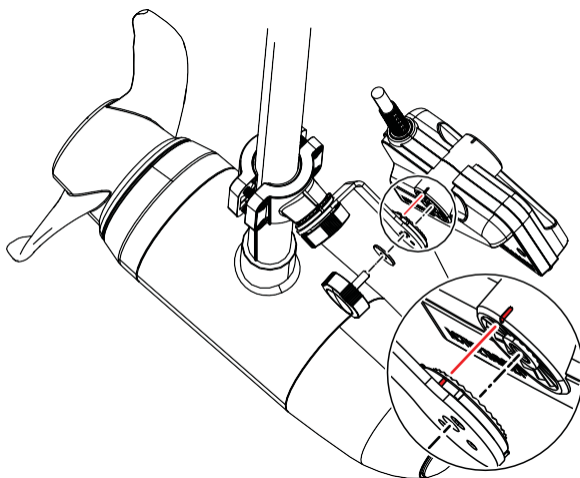
シャフトブラケットをローリングモーターの中心線に合わせる。



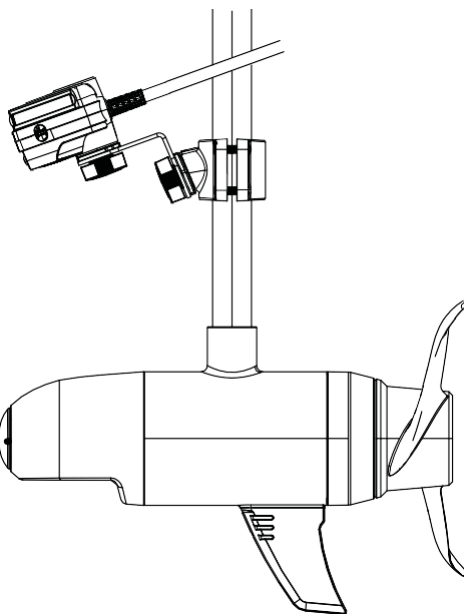
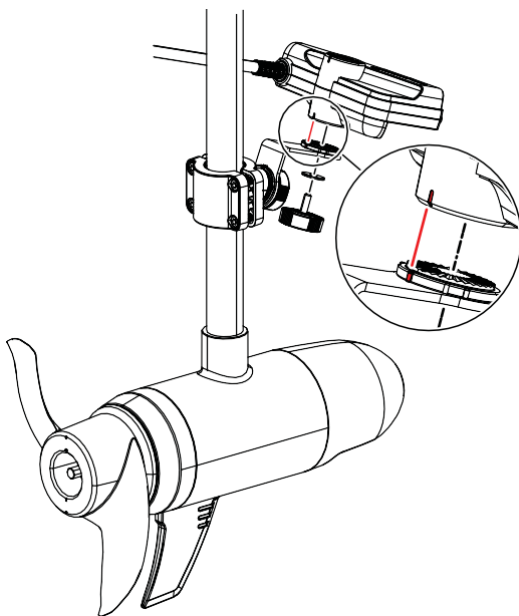
ダウンモードで使用する時の振動子取付



フォワードモードで使用する時の振動子取付

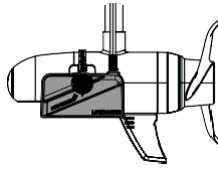


スカウトモードで使用する時の振動子取付

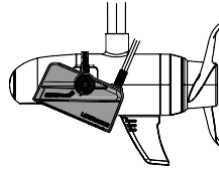


モーターへの取付

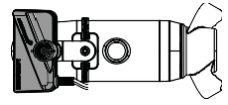
アクティブターゲット振動子は殆どのモーターに、ダウン、フォワード、スカウトと3つの方向で取り付ける事ができます。



ダウン

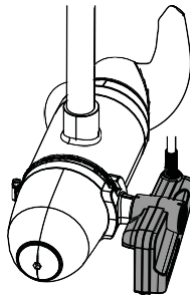


フォワード

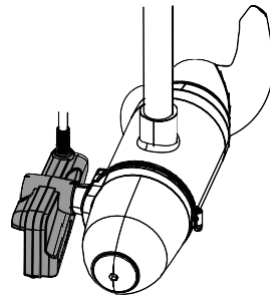


スカウト

振動子はシャフトの右舷側または左舷側に取り付けることができます。



左舷側



右舷側

ダウン:

振動子の真下にあるものを見るときに使用します。
ルアーと魚の動きをリアルタイムで見ながら釣りができます。

フォワード:

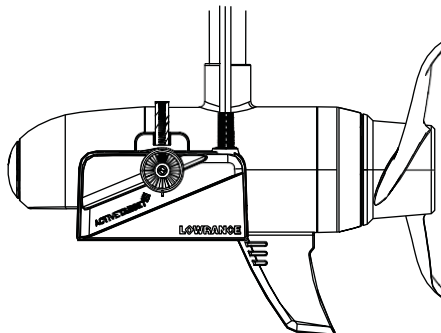
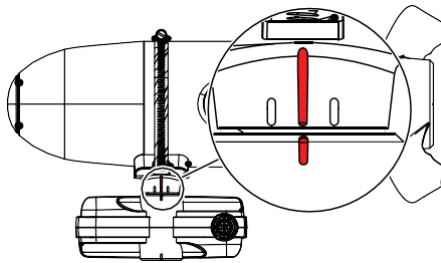
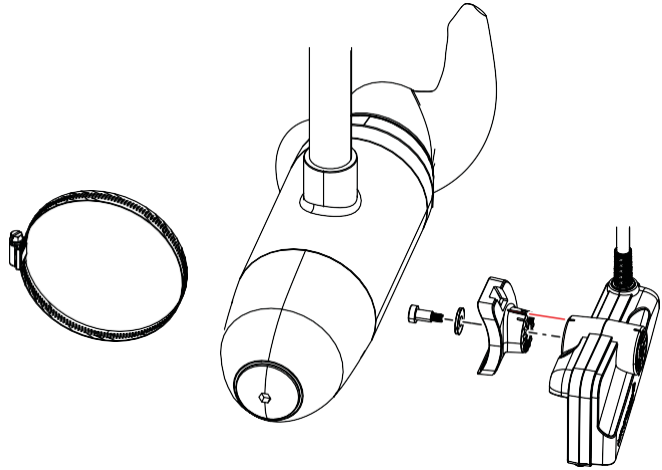
振動子の真正面の魚やストラクチャーを見るときに使用します。魚とストラクチャーの水深を見て、ターゲットへキャストをします。

スカウト:

魚やストラクチャーを広い範囲でサーチする時に使用します。
魚群を探し出して、次のキャストの方向を決めます

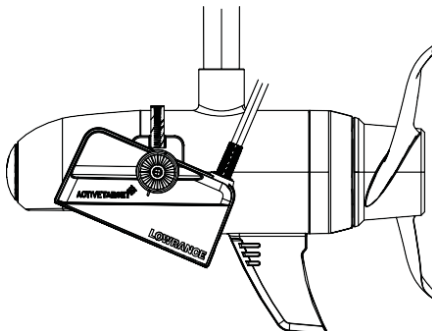
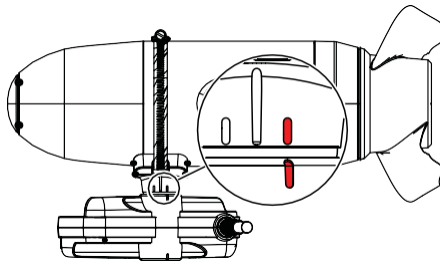
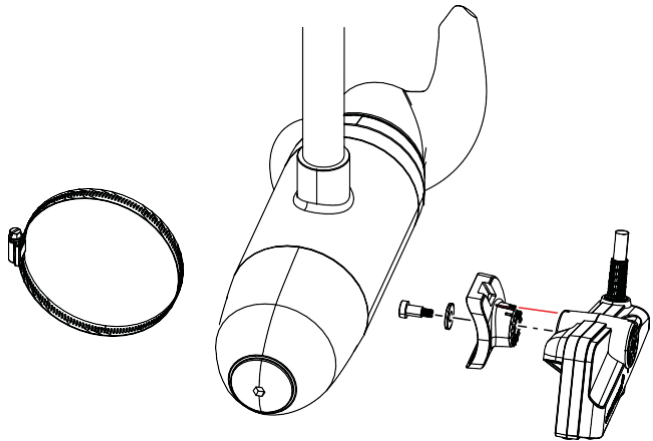
ダウンモードで使用する時の振動子取付

ブラケットを振動子に取り付け、ホースクランプでモーターへしっかりと固定します。ホースクランプは通常の使用中に振動子が動かないようにしっかりと締めてください。次に、位置合わせマークの位置に合うまで振動子をしっかりと握って回転させダウン方向に向けます。



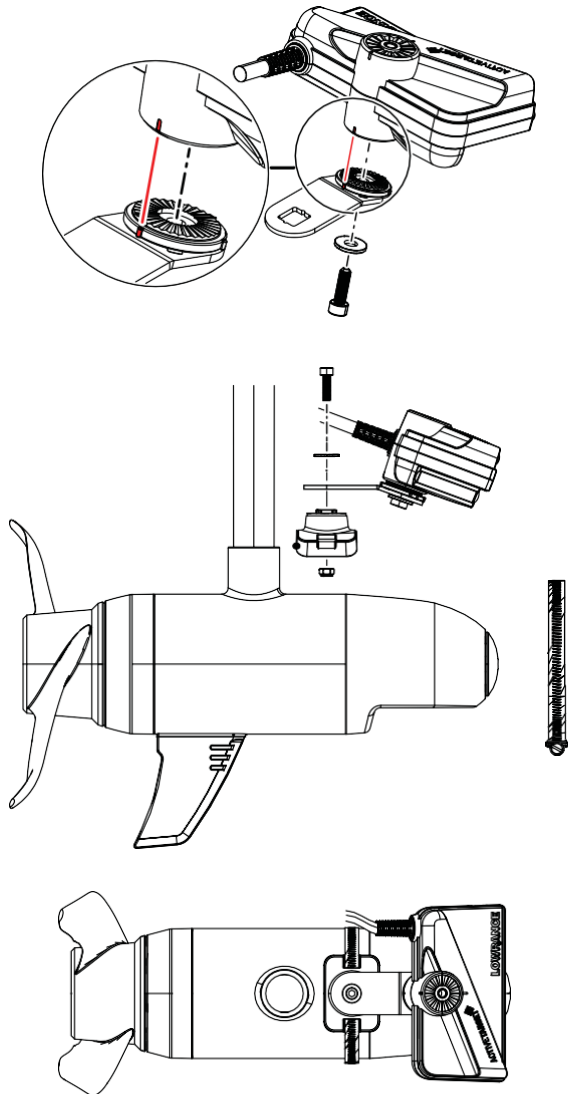
フォワードモードで使用する時の振動子取付

ブラケットを振動子に取り付け、ホースクランプでモーターへしっかりと固定します。ホースクランプは通常の使用中に振動子が動かないようにしっかりと締めてください。次に、位置合わせマークの位置に合うまで振動子をしっかりと握って回転させフォワード方向に向けます。



スカウトモードで使用する時の振動子取付

振動子をスカウトブラケットに取り付けます。次に、振動子とブラケットアームをブラケットへ取り付けます。ホースクランプを使用してモーターに固定します。位置合わせマークの位置に合うまで振動子をしっかりと握って回転させ方向を調整します。



4

配線

この章ではソナーシステムの配線方法について説明します。

ガイドライン

してはいけないこと:

- ケーブルを鋭角に折り曲げること。
- 水がコネクター部に流れてしまうような配線。
- レーダーや大/高電流伝送ケーブル、高周波信号ケーブルに隣接したデータケーブルの配線。
- 他の機器に干渉するような配線。
- 鋭角なものやバリのあるものの上を通す配線。

すべきこと:

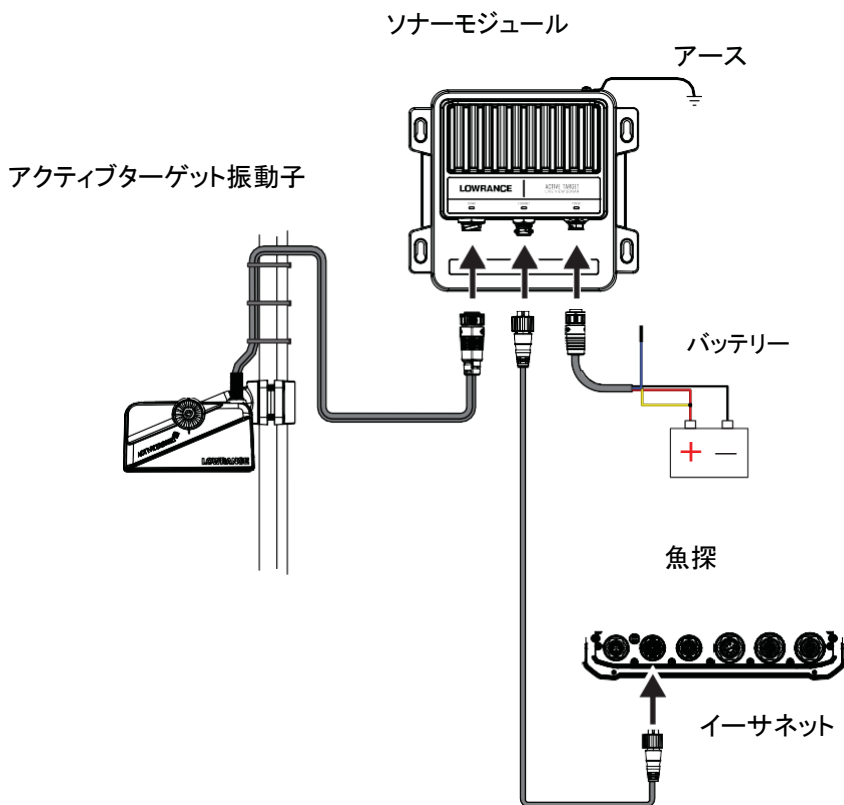
- 水滴が電源にながれないようにドリップループやサービスループを作る。
- 全てのケーブルをインシュロックで結束し、ケーブルを安全に保つ。
- ケーブルを延長または短縮する場合は、全ての配線接続をはんだ付け/圧着して絶縁する。
- ケーブルの抜き差しをしやすくするために、コネクター付近のスペースを確保する。

! 警告: 設置を開始する前に、必ず電源を切ってください。

設置中に電源を入れたまま、もしくは電源を入れると、火災、感電、その他の重傷を負う可能性があります。

電源の電圧がユニットと互換性があることを確認してください。

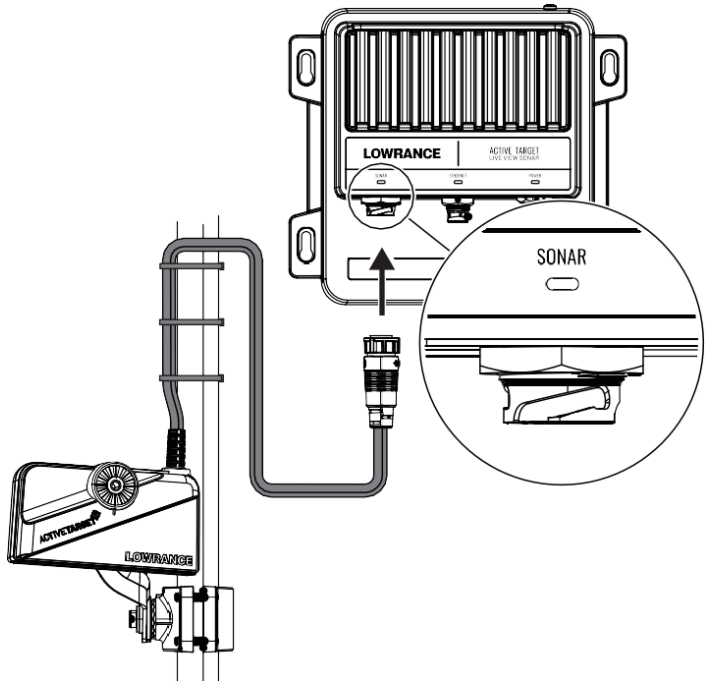
配線の概要



アクティブターゲット振動子

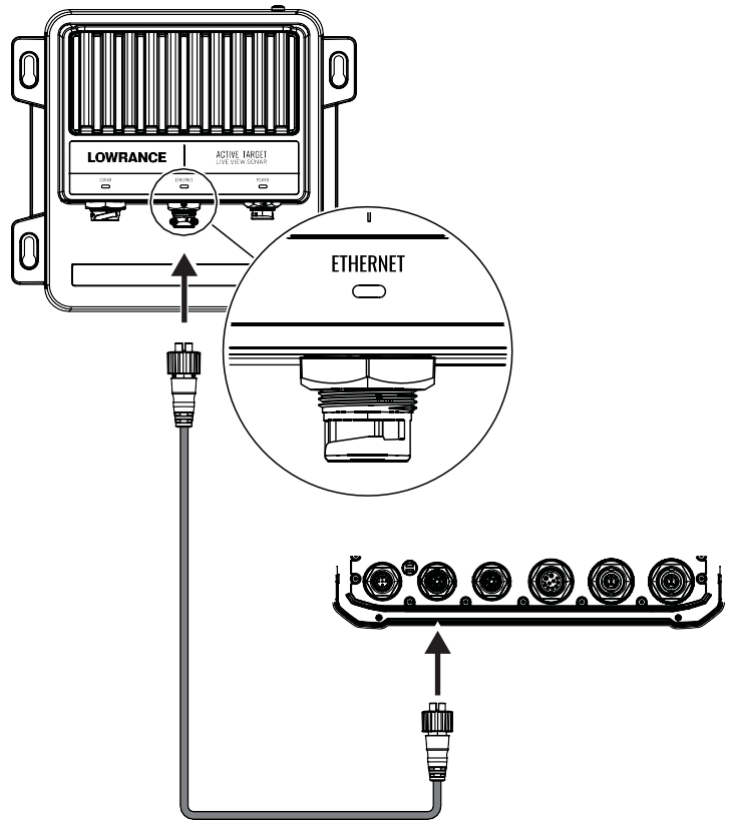
アクティブターゲット振動子を全ての方向に(ダウン/フォワード/スカウト)に調整できるようにケーブルに十分なたるみを残します。ケーブルを損傷することなく、モーターシャフトが完全に回転できるように、ケーブルループにも十分なたるみを持たせてください。

アクティブターゲット振動子をモジュールのソナーポートに接続します。ケーブルが正しく接続されているか確認してください。



イーサネット

イーサネットケーブルをモジュールのイーサネットポートに接続します。もう一方の端は、魚探側のイーサネットポートもしくはイーサネット拡張デバイスに接続する必要があります。



電源

この本体は12Vまたは24VDCシステムから電力を供給されるように設計されています。逆極性、定電圧、および過電圧(限定期間)から保護されます。

ヒューズまたは回路ブレーカーをプラス(+)電源に取り付ける必要があります。推奨ヒューズ定格については、30ページの[技術仕様]を参照してください。

電源ケーブルの黄色い線は本体のON/OFFを制御するために使用されます。

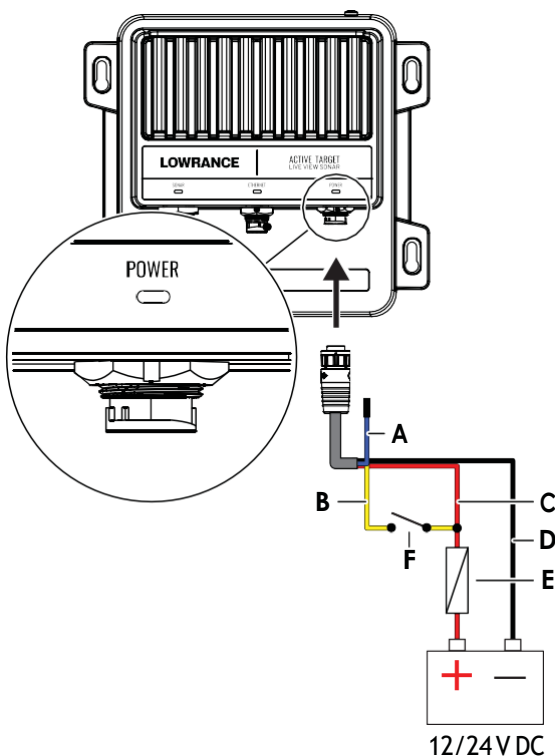
青い線は使用しないでください。

！ 警告： プラス電源線(赤)はヒューズまたは回路ブレーカー(ヒューズ定格に最も近い)を使用して(+)DCに接続する必要があります。

外部スイッチによる電源制御

電源を入れたり外したりすると本機の電源がON/OFFします。

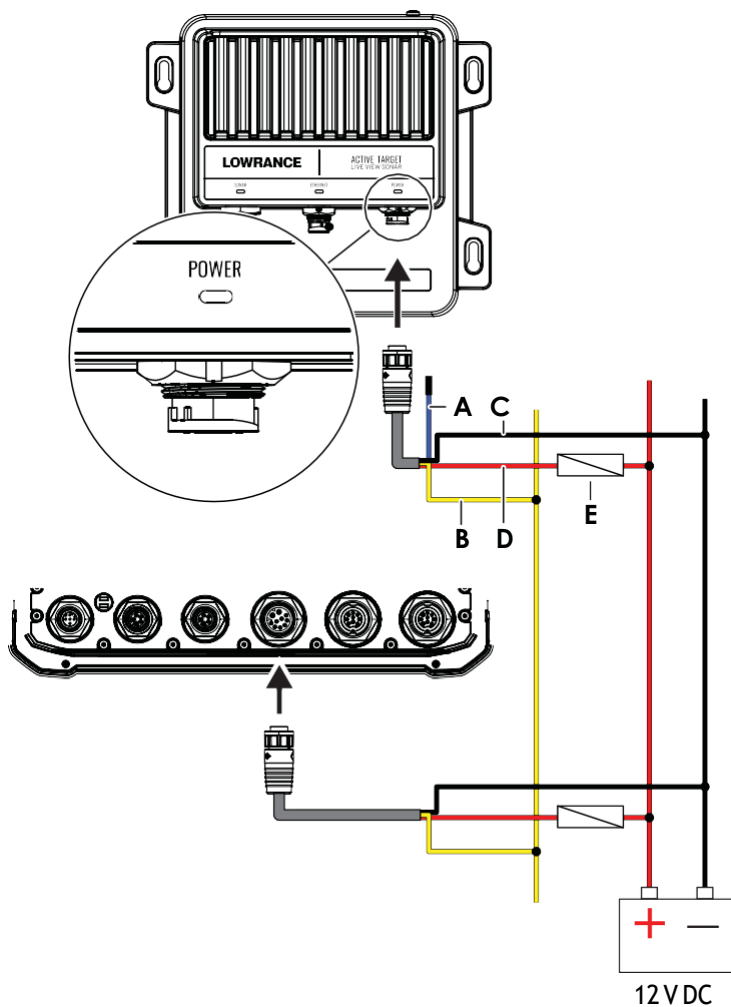
ヒューズの後のスイッチを介して黄色の線を赤い線に接続します。



種類	内容	配線色
A	使わない	青色
B	アクセサリ-ON	黄色
C	プラス(+) 12 V DC	赤色
D	DC マイナス	黒色
E	ヒューズ	
F	スイッチ	

パワーバス/魚探による電力制御

電源を入れたり外したりすると本機の電源がON/OFFします。
黄色の線を魚探の黄色の線に接続することにより、ソナーモジュールは魚探の電源を入れた瞬間にONになります。



種類	内容	配線色
A	使わない	青色
B	アクセサリ-ON	黄色
C	プラス(+) 12 V DC	赤色
D	DC マイナス	黒色
E	ヒューズ	

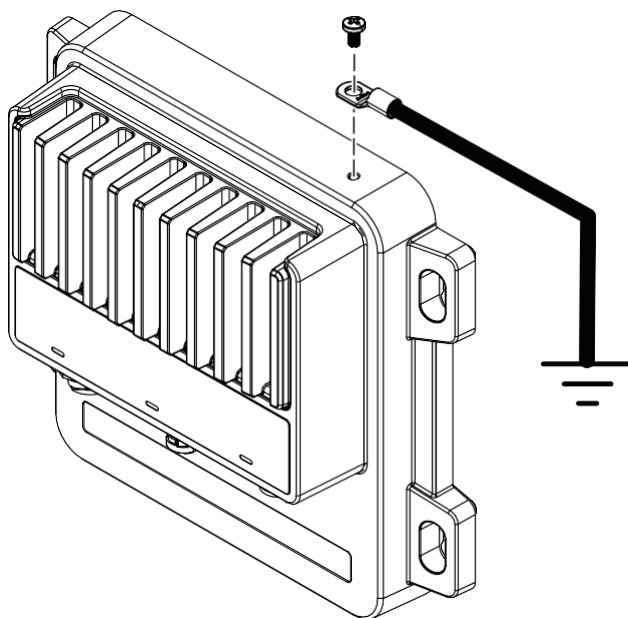
アース

アース端子はガルバニック腐蝕のリスクを排除するために電源からDC絶縁されています。

ノイズの問題が発生する場合、アース端子を設置する場所を変えてみてください。アースは船舶の接合面接地、非接合RF接地、またはバッテリーのマイナス(DC-)に取り付ける事ができます。

4mm² (12 AWG)以上の太い線を使用する事はお勧めしません。

→注記: 接続されたコンダクターにはDC電力は流れません。



LEDインジケータ

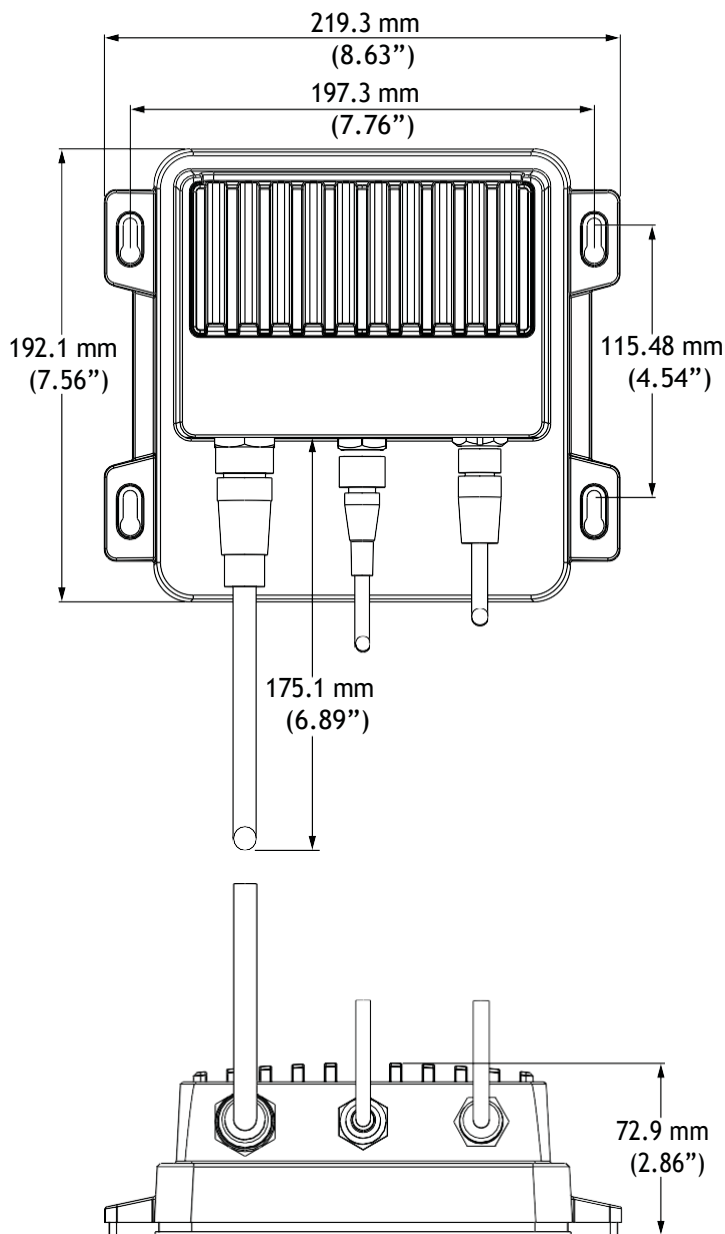
ソーナモジュールのLEDはモジュールの状態を示します。

LED	内容
電源	電源投入中は緑色に点灯します。開始すると、LEDは緑色と赤色に交互に点灯します。
イーサネット	ネットワークアクティビティーがあると点滅します。
振動子	アクティブな場合は緑色に点灯します。非アクティブになるとOFFになります。

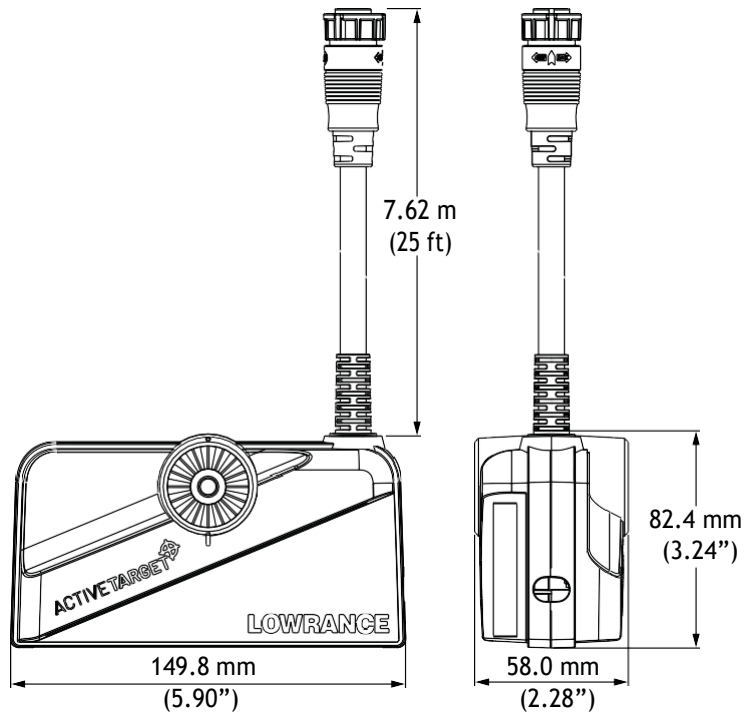
5

寸法図

ソナーモジュール



アクティブターゲット振動子



6

技術仕様

ソナーモジュール

使用環境	
保管温度	-30° C to +70° C (-22° F to +158° F)
動作温度	-15° C to +55° C (5° F to 131° F)
IPクラス	IP67
電気	
電源	12/24 V DC
動作電圧	10.8 V DC – 31.2 V DC
電流ドレイン (最大)	1.5A at 13.8 V
逆極性保護	Yes
ヒューズ定格	3 A
本体	
重量	1.86 kg (4.12 lbs)

アクティブターゲット振動子

使用環境	
保管温度	-30°C to +70°C (-22°F to +158°F)
動作水温	0°C to +35°C (32°F to +95°F)
本体	
重量	1.21 kg (2.67 lbs)
ケーブル長	7.62 m (25 ft)
取付オプション	トローリングモーターシャフト トローリングモーターローユニット トランサムマウント(別売)



*Reg. U.S. Pat. & Tm. Off, and ™ common law marks.
Visit www.navico.com/intellectual-property to review the global trademark rights and accreditations for Navico Holding AS and other entities.

www.lowrance.com

